4-119-053-**04** (1)

お客様・販売店様・特約店様用

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたが示されています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ
壁掛けユニットの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧のうえ、設置を行ってください。取り付け不備や、お取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

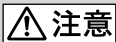
SU-WL700

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

対応モデル

対応モデルは予告なく変更になる場合があります。また、いくつかのモデルは在庫切れになったりすることがあります。
対応モデル以外のものを取り付けると、落下によるけがや破損の原因となります。

地上･BS･110度CS デジタルハイビジョン 液晶テレビ	KDL-40ZX1
液晶ディスプレイ	KLV-40ZX1M

上記以外のモデルをお使いの場合は、本製品が使用できるかどうかをディスプレイに付属の取扱説明書で確認してください。

お客様へ

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する また取り付けのときは幼児を遠ざける

正しく取り付けないと、以下のようなことがおこります。取り付けは専門業者にご依頼ください。

- ディスプレイが落ちると、打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともディスプレイの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。（ディスプレイの質量は、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。）
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

ディスプレイの移動や取りはずしは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の人が移動や取りはずしを行うと、ディスプレイが落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取りはずしは、必ず2人以上で行ってください。

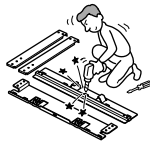
ディスプレイに水などの液体をかけない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

ディスプレイを取り付けたあとはネジなどをはずさない

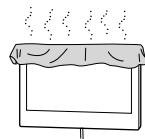
ディスプレイが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の分解、改造、変更は行わない

壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。

対応モデル以外のものを掛けない

この壁掛けユニットは対応モデル専用です。対応モデル以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ディスプレイの通風孔をふさがない

ディスプレイの上に布などをかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

ディスプレイ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ディスプレイに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

ディスプレイがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。

ディスプレイを雨や湿気にさらさない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

湿気やほこり、湯気の多い場所、機械的振動の多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

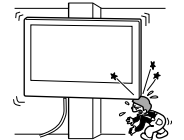
火のついたロウソクや燃えやすい物を近くに置かない

火災を防止するために、ディスプレイから離れた所に置いてください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ディスプレイがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのディスプレイがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、ディスプレイの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイの落下によるけがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはディスプレイを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにディスプレイを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、ディスプレイの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。

壁掛けユニットを取り付ける

販売店様・特約店様用

⚠警告

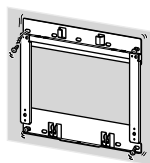
お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実に取り付けを行ってください。

販売店様・特約店様へ

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みのうえ、設置および保守･点検などを安全に行ってください。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ（径8mm相当4本以上）で、しっかりと固定してください。

付属品のネジおよび取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

ディスプレイが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にディスプレイに衝撃を与えない

ディスプレイが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にディスプレイを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、ディスプレイが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、ディスプレイを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。

取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する

壁掛けユニットやディスプレイを取り付けるときに、手や指を傷つけないようにご注意ください。

壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

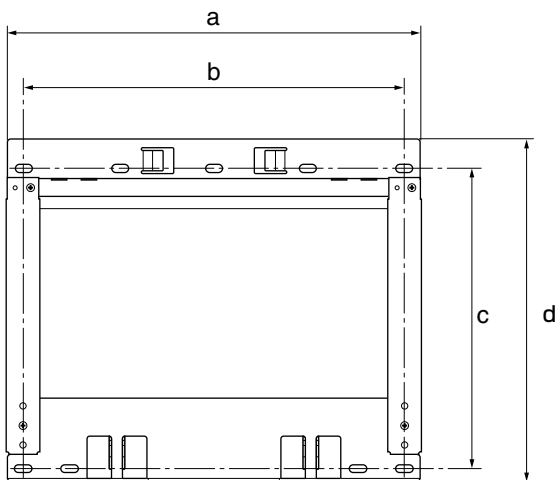
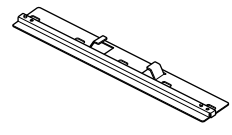
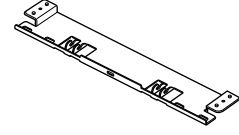
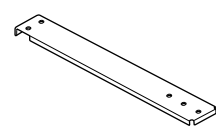
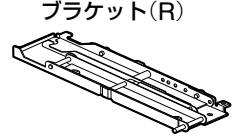
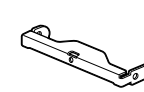
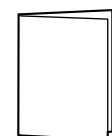
壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。

準備

取り付け手順はディスプレイによって異なります。
取り付け作業をするときは、この取扱説明書と別冊の組立説明図をあわせてご覧ください。

作業を始める前に

- ディスプレイに付属の取扱説明書を用意してください。
- マークの付いている手順では、別冊の組立説明図をあわせてご覧ください。
- マークの矢印は、ディスプレイの正面方向を示します。
- ネジに合ったプラスドライバーを用意してください。

主な仕様

寸法(mm)	a	445
	b	406
	c	320
	d	364
質量(kg)		4

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

設置

1 部品を確認する

1 **すべての部品がそろっているかを確認する。**

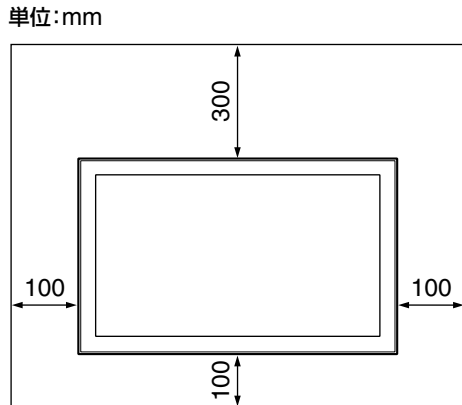
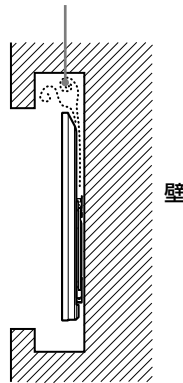
取り付ける壁の材質に合った径8mm相当4本以上のネジを用意してください(付属品ではありません)。

2 取り付け位置を決める

1 取り付け位置を決める。

9ページの取り付け寸法表を参照して、取り付け位置を決めてください。

ディスプレイの周囲には、次の図に示す寸法の空きが必要です。

単位:mm

下図のような設置はやめてください。

ご注意

壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかを確認してください。
コードのはさみ込みを避けるために、壁の穴はベースブラケットの外側に開けてください。

2 ベースブラケットⒶⒷを取り付けるために、ネジ穴の位置を確認する。

ネジ穴の位置について詳しくは、5ページをご覧ください。

⚠警告

取り付ける壁にはディスプレイの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。(ディスプレイの質量は、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。)
取り付け位置の壁面強度を確認してください。強度が不足する場合は、充分な補強をしてください。

3 ベースブラケットを壁に取り付ける

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ1.5 N·m {15 kgf·cm}に設定してください。

1 ジョイントブラケットⒸをベースブラケットⒶⒷに取り付ける。

ネジⒽ(+BVST4×8)4本で固定します。

2 組み立てたベースブラケットを壁に取り付ける。

径8mm相当4本以上のネジで固定します(付属品ではありません)。

ご注意

ベースブラケットは水平に取り付けてください。

4 ディスプレイの取り付け準備をする

1 必要に応じてスタンドをはずす。

ディスプレイにスタンドが取り付けられている場合は、以下の手順を行う前にスタンドをはずしてください。詳しくは、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ディスプレイより広い台の上に、画面を下にしてディスプレイを載せてください。
- 画面に傷がつかないように、台の上にはやわらかい布などを敷いてください。
- ディスプレイを持ち運ぶときは、下に敷いたやわらかい布などでディスプレイを覆ったまま移動してください。
- ネジの位置や本数は、ディスプレイによって異なります。ディスプレイに付属の取扱説明書で確認してください。

⚠注意

- 画面に直接負荷や衝撃がかかると破損したり、傷がつく危険性があります。
- ディスプレイとスタンドを同じ水平面上に置くと不安定になり危険です。ディスプレイだけを台の上に載せるようにしてください。
- スタンドをはずすときは、スタンドを両手でしっかり持つようにしてください。

2 スペーサーを置く(KDL-40ZX1/KLV-40ZX1Mをお使いのときのみ)。

❶ ディスプレイ後面からネジ4本をはずす。

❷ ❶のネジ穴に、ディスプレイに付属のスペーサーを置く。

詳しくは、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。

3 マウンティングブラケットⒹⒺをディスプレイ後面に仮留めする。

マウンティングブラケットⒹⒺ上部をネジⒾ(+PSW M6×16)2本で仮留めします。

4 ロックブラケットⒻをマウンティングブラケットⒹⒺに取り付ける。

❶ マウンティングブラケットⒹⒺ下部を外側に開く。

ご注意

マウンティングブラケットが動かないときは、手順3で仮留めしたネジをゆるめてください。

❷ マウンティングブラケットⒹⒺ下部を内側に戻しながら、マウンティングブラケットⒹⒺのピンをロックブラケットⒻに差し込む。

5 別売りのソニースピーカーシステムを取り付ける（KDL-40ZX1/KLV-40ZX1Mをお使いのときのみ）。

ディスプレイを壁に取り付ける前に、必ずスピーカーシステムを取り付けてください。詳しくは、スピーカーシステムおよびディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。

6 マウンティングブラケットⒹⒺをディスプレイ後面に固定する。

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2 N･m {20 kgf･cm} に設定してください。

❶ マウンティングブラケットⒹⒺ下部をネジⒾ（＋PSW M6×16）2本で固定する。

❷ すべてのネジをしっかりと締め付ける。

7 マウンティングブラケットⒹⒺの角度を調整する。

六角レンチⒼを使って調整します。
ディスプレイを垂直に取り付けて使用する場合（0°）は、角度調整（以下❶❷）をする必要はありません。

❶ マウンティングブラケットⒹⒺからネジを2本ずつはずす。

❷ 変えたい角度（「■」または「5」、「10」、「15」、「20」）に調整し、ネジで固定する。

ご注意

- 左右は必ず同じ角度に調整してください。また、各マウンティングブラケットの2本のネジは、必ず同じ角度のネジ穴を使用してください。
- マウンティングブラケットのアームがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。

⚠注意

角度を調整するときは、指をはさまないようにご注意ください。

角度調整についてのご注意

- 2ページに記載されているモデル以外をお使いの場合は、ディスプレイの大きさや寸法などによって角度（「0」、「■」、「5」、「10」、「15」、「20」）が制限されることがあります。
- 2ページに記載されているモデル以外の角度を調整するときは、必ずディスプレイに付属の取扱説明書もご覧ください。

5 ディスプレイを壁に取り付ける

1 ディスプレイに、電源コードおよび接続ケーブルをつなぐ。

詳しくは、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- いったんディスプレイを壁に取り付けると、ケーブル類をつなげなくなります。
- 壁の中の配線、電気工事は専門業者にご依頼ください。
- 接続後、ケーブル類を束ねてください。束ねておかないと、ディスプレイを壁に取り付けるときにケーブル類を足に引っかける恐れがあります。

2 型紙Ⓛを準備する。

❶ 9ページの取り付け寸法表を参照する。

❷ ディスプレイの幅に合わせた目印を型紙Ⓛに付ける。
ディスプレイ寸法Ⓐを1/2の値にして、型紙Ⓛの中央線から左右均等に目印を付けてください。

❸ 型紙Ⓛの中央線をベースブラケットⒶ中央の目印に合わせ、型紙Ⓛを壁にテープなどで貼る。
型紙ⓁはベースブラケットⒶと平行にしてください。

3 ディスプレイをベースブラケットⒶⒷに取り付ける。

ディスプレイを両手でしっかり持ち、型紙Ⓛの目印を参考にしながらベースブラケットⒶⒷに掛けてください。

ご注意

ディスプレイの下側を軽く手前に引っ張って、下側が手前に浮き上がらないことを確認してください。もし浮き上がる場合はベースブラケット下側の固定が外れていますので、固定し直してください。

⚠警告

ディスプレイは、必ず2人以上で持ってください。40V型の場合は2人以上、46V型以上の場合は3人以上で持つ必要があります。

4 ベースブラケットⒷとロックブラケットⒻをしっかりと固定する。

ネジⒿ（＋PSW M5×8）で固定します。

ご注意

- ネジを取り付けるときはディスプレイを押して落下させてしまう危険性がありますので、ディスプレイが外れないように上から押さえて作業を行ってください。
- ロックブラケットの目印に合わせてネジを取り付けてください。
- ネジが取り付けられない場合は、マウンティングブラケットの角度調整が誤っている可能性があります。手順4-7をご覧になり、マウンティングブラケットの角度を確認してください。

6 取り付け完了を確認する

1 **以下の最終確認をする。**

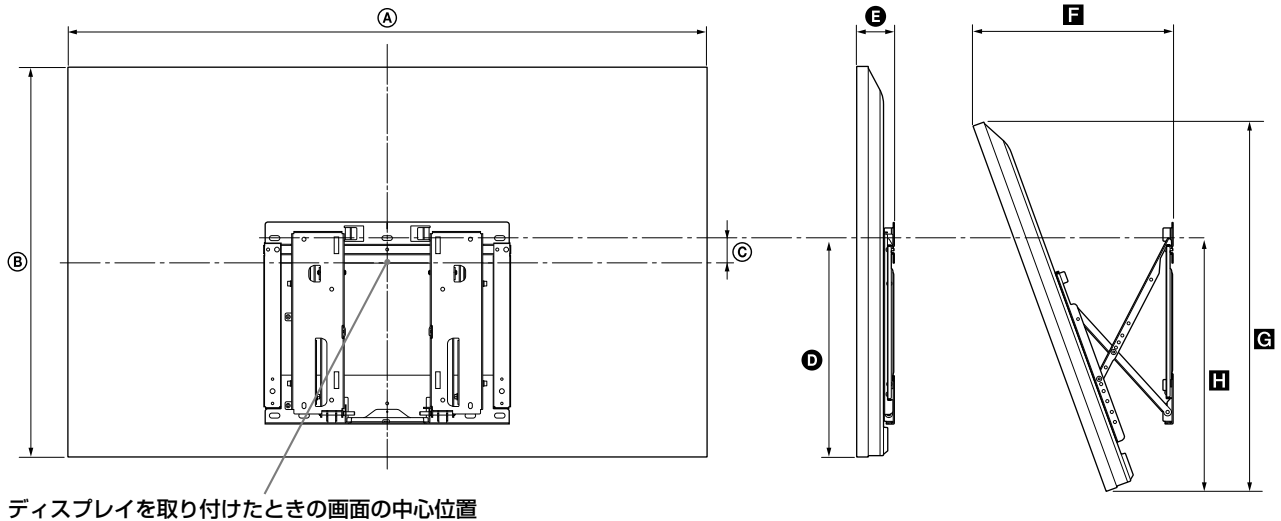
- マウンティングブラケットⒹⒺがベースブラケットⒶⒷに確実に掛かっていますか。
- ケーブル類がねじれたり、はさまったりしていませんか。
- ベースブラケットⒷとロックブラケットⒻを固定しているネジⒿが確実に締め付けられていますか。

⚠警告

取り付けた状態での角度調整や不完全な取り付けは絶対におやめください。製品の落下によるけがや破損の原因となります。また、電源コードなどの不適切な処理は、ショートによる感電や火災を引き起こす恐れがあります。安全のために確認作業を確実に行ってください。

その他

ディスプレイを取りはずすときは、取り付けと逆の手順を行ってください。

取り付け寸法表

単位：mm

ディスプレイ型名	ディスプレイ寸法		画面中心寸法	取り付け角度による長さ				
				角度0°		角度20°		
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	F	G	H
KDL-40ZX1/ KLV-40ZX1M	986	599 679*	74	373 454*	48	315	563 639*	433 509*

取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。

* 別売りのソニースピーカーシステムを含む

⚠警告

取り付ける壁にはディスプレイの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。
ディスプレイの質量は、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「200」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China